

京丹波町住民自治組織によるまちづくり検討委員会

第3回会議

日時 平成19年1月18日午後7時
場所 瑞穂支所会議室
出席委員 15人(欠席なし)

1 開会

2 あいさつ

委員長・・・町外の方から検討委員会会長宛に手紙をいただいた。町外の方でもこの検討委員会に非常に興味を持たれており、自治組織のあり方について、京丹波町のみならず、広域的に一石を投じることになるのではないかと感じた。まちづくりの方向に関わるもので非常に重要な協議になるが、よろしく願いしたい。

3 議 題

委員・・・既に地域振興会があるが、今、検討している住民自治組織との関係はどうなるのか。今、様々な団体がそれぞれ活動され、同じような活動を行っていることも多いのではないか。

また、現在、進められている町総合計画審議会の議論と重複しないのか。

事務局・・・既に、桧山地区、梅田地区、三ノ宮地区、質美地区、和知町北部の北部振興会と5つの組織が活躍されている。

検討委員会では、住民自治組織のあり方や組織づくりについて検討いただくものであり、結果的に既存する組織の体制等の見直しも必要になってくると考える。

委員・・・既存の地域振興会の内容も踏まえた上で、検討すべきであると考えているが。

事務局・・・今後、既存組織の取り組みの内容を説明する予定である。住民自治組織のあり方については、検討委員会での研修、分析等を行う中で、見出していききたい。

(1) 第2回会議グループワークを振り返って

《前回会議で作成した模造紙によりグループ協議》

(2) 先進地事例研修（広島県安芸高田市の事例から）

《安芸高田市概要資料により事務局説明》

3 その他

委員・・・外の地域の活動や施設を知ることが大切であるので、委員みんなで、町内を見学することを実施してはどうか。

4 閉会

副委員長・・・既存組織の活動なども十分踏まえて協議をして参りたい。

次回会議 開催日：2月15日（木）午後7時00分から
会 場：本庁2階議場

グループワーク 全体まとめ

1 地域の課題

- ・ 高齢化
- ・ 農地荒廃
- ・ 人材不足
- ・ 担い手不足
- ・ 集落維持が難しい
- ・ 役員のなり手が無い
- ・ 田舎はわずらわしい
- ・ 保育所、小学校の統廃合
- ・ 家を継ぐという意識の低下
- ・ 個人主義

2 行政の課題

- ・ サービス向上
- ・ 行政ができること、できないこと
- ・ 職員対応まちまち
- ・ 財政難を説明(説明責任)
- ・ 思いやりがない
- ・ 情報が少ない
- ・ 1年のブランク

3 改革への阻害

- ・ まだ恵まれている
- ・ 中途半端
- ・ 危機感の差

- ・ 今のうちに
- ・ まだ元気のあるうちに
- ・ 何かを

4 これからの取り組み

- ・ 町民の一体化
- ・ 情報の発信
- ・ 生き生きとしたものに
- ・ **魅力をつくる**
- ・ **誇りをもつ**

【地域で】

- ・ 地域みんなで考える
- ・ 声かけ運動
- ・ 村づくり委員会
- ・ 集いの必要性
- ・ 集落が金を生むしくみ
- ・ まちづくりの原点=人権
- ・ 職員が地域に入って

【キーワード】

- ・ **意識改革**
- ・ **分担必要**
- ・ **大きな組織**
- ・ **リーダーの後継者**
- ・ **伝統を大切にする**
- ・ **要望型から提案型へ**